

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

| | |
|--|--|
| (整理番号) 027 | 提案機関名 一般社団法人神奈川県養豚協会 |
| 要望問題名 養豚農場における暑熱対策について | |
| 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 暑熱期の繁殖能力低下、増体量の低下は避けられませんが、簡単・低コストな畜舎の改造、飼料給与面での改良等、養豚農家の負担が少ない改善で、少しでも低下を抑える技術の開発をお願いします。 例えば、遮熱・通風、体温が上がらない・摂食量が落ちない飼料等、複数の、また新しい技術を複合的に考慮し、養豚農家で簡単に組み入れる技術が望ましい。 | |
| 解決希望年限 | ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 |
| 対応を希望する研究機関名 | ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター |
| 備考 | |

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| | | | |
|---------|--|------|------------|
| 回答機関名 | 畜産技術センター | 担当部所 | 企画指導部企画研究課 |
| 対応区分 | ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可 | | |
| 試験研究課題名 | (①、②、④の場合) | | |
| 対応の内容等 | <p>御指摘のとおり、近年の地球温暖化による気候変動の影響は、養豚経営においては特に夏季の著しい気温上昇が豚の生産性を低下させています。</p> <p>御要望の問題に関連する課題として、他の試験研究機関において地中熱ヒートポンプを用いた冷却システムによる暑熱対策^{※1}が検討されています。また、給与飼料の観点ではアミノ酸強化飼料による暑熱環境下の肥育豚の飼養成績改善の検討^{※2}がされていますので情報提供させていただきます。</p> <p>また、現在、既存豚舎で応用可能な養豚農家に導入しやすい暑熱対策技術について課題化を検討しており、このなかで御要望の内容について対応していきたいと思っております。</p> | | |
| 解決予定年限 | ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内 | | |
| 備考 | <p>※1 地中熱利用ヒートポンプを用いた冷却システムによる豚肉の発育性や生理変化および暑熱ストレスへの影響（新近畿中国四国農業研究3 58-66, (2020)</p> <p>※2 リジン、トレオニン、メチオニンおよびトリプトファン濃度を高めた飼料の給与が暑熱時の肥育後期豚の飼養成績に及ぼす影響（日豚会誌 56(1) 8-14)</p> | | |